

第6回「新時代における徳島県公立高等学校の在り方検討会議」の概要について

徳島県教育委員会教育創生課

## 第6回「新時代における徳島県公立高等学校の在り方検討会議」の概要

1 日 時 令和4年1月20日(木) 午前10時から午前11時50分まで

2 場 所 徳島県庁10階 大会議室

### 3 出席者

○委員 14名中13名出席

○県教委 教育次長, 教育創生課長, 他事務局員計3名

### 4 議事概要

○県教育委員会あいさつ

○「新時代における徳島県公立高等学校の在り方検討会議報告書(案)」について

○意見交換

### 5 意見交換での報告書案に対する主な意見

#### (1)「特色化・魅力化を図るための方策についての提言」に関する意見

①学校としてできることには限界があるので, 県教委としても, 普通科の特色化・魅力化を図る施策があっても良いのではないかと考える。

#### (2)「協働的な学びの確保に向けた方策についての提言」に関する意見

①多様な学びに対するニーズへの対応という視点から, 定時制課程や通信制課程の適正配置等の検討の必要性を盛り込む必要があるのではないかと考える。

②生徒数の減少状況は地域ごとに異なるので, 「地域ごとの生徒数の減少状況を見据えて」といった文言を書き加えるなどした方が良いと考える。

③交通費や通学時間の問題等, 通学距離が生徒に与える影響は大きい。再編統合の検討の際には, 遠距離通学上の課題解消の手立てについても触れる方が良いと考える。

#### (3)「地域の拠点としての施設の利活用の方策についての提言及び添付資料」に関する意見

①県内中学3年の生徒数の推移予測について, 地域ごとの生徒数の推移予測の状況が分かる資料も入れてほしい。

### 6 今後の予定

2月上旬頃 「新時代における徳島県公立高等学校の在り方検討会議報告書」提出

# 第6回新時代における徳島県公立高等学校の在り方検討会議

## 次 第

日時 令和4年1月20日(木)

午前10時から

場所 徳島県庁10階 大会議室

### 1 開会

### 2 議事

(1) 新時代における徳島県公立高等学校の在り方検討会議報告書(案)について

(2) 意見交換

(3) その他

### 3 閉会

#### 配付物一覧

(1) 検討会議次第(本紙)

(2) 会場配席図

#### [資料]

資料1 新時代における徳島県公立高等学校の在り方検討会議委員一覧

資料2 第5回「新時代における徳島県公立高等学校の在り方検討会議」概要

資料3 施設の利活用のアイデア

資料4 これまでの議論の概要

資料5 新時代における徳島県公立高等学校の在り方検討会議報告書(案)

参考資料 第5回「新時代における徳島県公立高等学校の在り方検討会議」会議録

## 新時代における徳島県公立高等学校の在り方検討会議委員一覧

令和4年1月20日現在

氏名	役職等
市岡 沙織	市岡製菓株式会社 代表取締役社長
井上 浩子	徳島県立富岡東中学校・高等学校 学校評議員
儀宝 修	徳島県立徳島科学技術高等学校 校長
近藤 明子	四国大学経営情報学部 准教授
坂田 千代子	一般社団法人徳島経済同友会 代表幹事 株式会社あわわ 会長
瀬尾 陽子	徳島県立吉野川高等学校 PTA会長
孝志 茜	さくら税理士法人 公認会計士・税理士
辻 貴博	貞光食糧工業株式会社 代表取締役社長
西村 智子	川城・西村法律事務所 弁護士
福谷 あずさ	ケーブルテレビ徳島株式会社 コンテンツ事業部編成グループ 係長
分木 秀樹	公益財団法人徳島県スポーツ協会 専務理事
松本 賢治	徳島県市町村教育委員会連合会 会長 徳島市教育委員会 教育長
山下一 夫	鳴門教育大学 学長
結城 栄子	吉野川市立川島中学校 校長

※ 50音順 敬称略



## 第5回「新時代における徳島県公立高等学校の在り方検討会議」の概要

- 1 日時 令和3年10月26日(火) 午前10時から午前11時30分まで
- 2 場所 徳島県庁10階 大会議室
- 3 出席者
  - (1) 委員 14名中12名出席
  - (2) 県教委 教育次長, 教育創生課長, 他事務局員計4名
- 4 議事
  - (1) 「公立高等学校の協働的な学びの確保に向けた方策」について
  - (2) 「公立高等学校の地域の拠点としての施設の利活用の方策」について
  - (3) 意見交換
- 5 意見交換において検討会議委員から出された主な意見
  - (1) 「公立高等学校の協働的な学びの確保に向けた方策」について
    - 前回の議事内容の確認
  - (2) 「公立高等学校の地域の拠点としての施設の利活用の方策」について
    - ①委員の自由な発想による施設の利活用のアイデアについて
      - 適応指導教室や通信制高校, しらさぎ中学校のサテライト校等, 多様な学びに対応できる施設としての利活用
      - 学童保育や図書館, 子ども食堂, 障がい者支援施設等, 子どもたちをサポートする支援センターや子どもたちの学びの場としての利活用
      - スケートボード等の競技に特化した, 県外から代表レベルの人たちが集まるような施設や, 学校施設と社会体育施設等を複合化した施設としての利活用
      - キャンプ初心者のためのキャンプ場や, 本県への移住を検討する人の宿泊施設, あるいは小規模校が集って協働的な活動が行える施設としての利活用
      - Wi-Fi完備で気軽に使えるコワーキングスペースやサテライトオフィス等, 企業への貸し出しや企業の誘致につながる利活用
      - 体験農園や農業レストラン等, 農業拠点としての施設や, 教育, 市民生活, 産業関係等を包括する複合型の公共施設等としての利活用
    - ②施設の利活用を進める上で考慮すべき点について
      - 持続可能な利活用のためには, 地元地域や企業と連携するとともに, 外部委託を含め, 安全管理やセキュリティ対策等の管理運営体制を確立する必要がある。
      - 学校運営協議会を活用したり, 地域住民, 行政との協議の場を設けたりするなどして, 早い段階から地元地域のニーズを把握できるよう取り組んでほしい。
      - 現存している学校の施設の利活用の際には, 施設利用者と学校の双方がWin-Winの関係になるよう, 当該学校の教育に資する利活用の在り方を考えてほしい。
      - 改修費用や施設の場所等の観点から, 利活用が困難と判断される場合には, 地元地域等と協議の上, 更地にすることもやむを得ないのではないかと。

## 施設の利活用のアイデア

第5回検討会議より

分類	利活用アイデア
学校教育	阿南光高校新野キャンパスのイノベーションセンターのような活用
	通信制の公立高校
	不登校生の受け入れができ、中高が連携して最終的には学校に戻る適応指導教室のような利活用
	幼少段階から発達障がいの子どもたちをサポートする、支援センターや作業所等が複合化した学校
	しらさぎ中学校のサテライト校
社会教育	学童保育やシェアスペースとして習い事ができる場所、子ども食堂、中古本を寄付してもらって設立した図書館等、子どもたちの学びの場として使える施設
	防災士の資格を取得できるサテライト施設
	コーヒーを楽しんだり、子どもを連れて本を読みに来てゆっくりしたりできる図書室のようなスペース
スポーツ	スケートボードやボルダリングなど、全国的に数の少ない1つのスポーツに特化して整備した、県外からの代表レベルの人たちが使う施設と宿泊施設
	学校と連携して部活動を運営する総合型地域スポーツクラブの事務局
	学校施設と社会教育施設や社会体育施設とが複合化した施設
宿泊	小規模化する近隣の学校同士で、合宿等の集団活動ができるような協働的な活動の拠点
	四国八十八ヶ所のお遍路さんに泊まっていただく施設
	移住を検討している人のための案内施設や宿泊施設
	キャンプ初心者やファミリーキャンプなど、ゆるくキャンプしたい人のためのキャンプ場
企業	県外からの企業やその地域の教育に携わってもらえる企業の誘致、企業への貸出
	サテライトオフィス
	アクセスしやすい場所にWi-Fiを完備した気軽に使えるコワーキングスペース
その他	病児保育の教室
	体験農園や農業レストランなど、新しい農業の拠点になるような場所
	教育、市民生活、産業関係を全てミックスするような複合型の公共施設
	介護施設(病院が近接したところにある場合)

## これまでの議論の整理

### 【第 1 回会議】

- 「公立高校の特色化・魅力化を図るための方策」について、普通科の特色化・魅力化、入学者選抜制度(特色選抜)の見直し等、多様な視点から協議がなされた。
- スクール・ミッション、スクール・ポリシーの策定が、各校の特色化・魅力化に有効であり、それらの策定に早急に取りかかることが望ましいとの方向性が確認された。

### 【第 2 回会議】

- 事務局によって作成された各校のスクール・ミッション案をもとに協議がなされた。
- 事務局案に対しては、普通科の特長をイメージしやすいものにするために具体的な内容を盛り込んでもらいたいなどの意見が出された。

### 【第 3 回会議】

- スクール・ミッション、スクール・ポリシーの広報イメージ及びスクール・ポリシーに基づく教育活動の評価等についての協議が行われた。
- 広報イメージについては、SNSを活用するなど中学生や保護者にダイレクトに伝えるなどの工夫を凝らしてはどうかといった意見が出された。
- 評価については、「学校評価」を活用して、教育活動の改善につなげてほしいなどの意見が出された。

### 【第 4 回会議】

- 「公立高等学校の協働的な学びの確保に向けた方策」について協議がなされた。
- 「高校間連携」、「オンラインの活用」、「地域や各種団体等と関わる機会の創出」等の観点からの協働的な学びの確保の必要性について、多様な意見が出された。
- 部活動や学校行事等、リアルな生徒同士の関わり合いが協働的な学びの基本となるので、多様性確保の観点から適正規模を維持する必要があるなどの意見が出された。
- 将来の生徒数の減少を見据えて、再編統合して高校の魅力化を図る視点が必要ではないかという意見が出された。

### 【第 5 回会議】

- 「公立高等学校の地域の拠点としての施設の利活用の方策」について協議がなされた。
- 「多様な学びに対応できる施設」、「学校施設と社会体育施設等を複合化した施設」等、利活用の様々なアイデアが出された。
- 施設の利活用を進める上で考慮すべき点について、「管理運営体制」、「地元地域のニーズ把握の必要性」等の意見も出された。

# 新時代における徳島県公立高等学校の在り方検討会議

## 報告書（案）

令和4年1月

新時代における徳島県公立高等学校の在り方検討会議

## 目 次

### はじめに

- 1 「公立高等学校の特色化・魅力化を図るための方策」についての提言…………… 1
- 2 「公立高等学校の協働的な学びの確保に向けた方策」についての提言…………… 3
- 3 「公立高等学校の地域の拠点としての施設の利活用の方策」についての提言… 5

### 資料

- 資料 1 新時代における徳島県公立高等学校の在り方検討会議開催経過…………… 7
  - 資料 2 県内中学 3 年の生徒数の推移（予測）…………… 8
  - 資料 3 高等学校・中等教育学校の配置図…………… 8
  - 資料 4 公立高等学校・県立中等教育学校及び県立中学校の設置状況…………… 9
  - 資料 5 最近の高校再編…………… 11
  - 資料 6 最近の学科再編、新学科の設置等…………… 12
  - 資料 7 新時代における徳島県公立高等学校の在り方検討会議設置要綱…………… 13
  - 資料 8 新時代における徳島県公立高等学校の在り方検討会議委員一覧…………… 14
- ※参考資料 徳島県公立高等学校・中等教育学校のスクール・ミッション一覧…………… 15



## はじめに

国の中央教育審議会では、令和4年度から新しい高等学校学習指導要領が年次進行で実施されることを見据えて、スクール・ミッションの再定義やスクール・ポリシーの策定、個別最適な学びと協働的な学びの実現、さらには「普通教育を主とする学科」の弾力化等、新時代に対応した高等学校教育の在り方が示された。

また、「経済財政運営と改革の基本方針2018」（平成30年6月閣議決定）では、「地域振興の核としての高等学校の機能強化」を進めること等が重要課題への取組として位置づけられ、さらに、地方創生の目指すべき将来や基本目標、施策の方向性等を取りまとめた第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」（令和元年12月閣議決定）においては、「地域の将来を支える人材育成の要となる高等学校の機能強化」の方策として、高等学校と地域、産業界との連携・協働による取組等の推進が盛り込まれた。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を機に、東京一極集中のリスクが顕在化し、地方での暮らしが注目を集める中、それぞれの地域に根づいた各高校において、特色化・魅力化を図ることは、子供たちにとって目的意識の明確な進路選択や、地域を知る機会の創出に結びつくとともに、地方創生の推進にもつながると考えられる。

県教育委員会によると、本県では、少子化に伴い生徒数が減少する中、平成18年3月に「高校再編方針」を策定し、県内唯一となる体育科（学科名「スポーツ科学科」）の設置や、6次産業化に対応した高校の創設等、専門学科を有する高等学校を中心に再編を進め、平成30年度をもって区切りを迎えたとのことである。

普通科を有する高等学校においても、課題解決型の学習に取り組む理数科（学科名「探究科」）や、林業関係の人材育成に取り組む農業科（学科名「森林クリエイト科」）といった専門学科の設置、さらには、人口減少が著しい地域にある学校の活性化や地域にある高等教育機関との連携に取り組んでいる。

また、令和2年度からは、通学区域制を見直すとともに、高校生にも1人1台端末を整備する徳島県GIGAスクール構想の推進や、コミュニティ・スクール導入の促進等、各高校の特色化を支援する環境の整備も進めているとのことである。

一方で、少子化に伴う生徒数の減少に対応するとともに、DX（デジタルトランスフォーメーション）を推進し、未知なる世界を自ら切り拓き、持続可能な開発目標（SDGs）を踏まえて、「持続可能な社会」を創造する人財を育成するためにも、普通科高校を含む「各高校における教育活動の方向性」を、より一層明確にする必要があるとの認識を県教育委員会は有している。



こうした状況を踏まえ、徳島県教育委員会は、令和3年1月8日に施行された「新時代における徳島県公立高等学校の在り方検討会議設置要綱」に基づき、学識経験者や学校関係者からなる「新時代における徳島県公立高等学校の在り方検討会議」を開催した。令和2年2月に開催した第1回会議では、県教育委員会教育長から、10年先、20年先を見据えた「本県公立高等学校の目指すべき将来像」について、あらゆる角度から検討するよう要請が行われた。

本会議では、この要請を受け、令和3年2月から令和4年1月までの間に計6回の会議を開催し、次に示す3点について様々な立場から多角的に議論を重ねてきた。

- (1) 公立高等学校の特色化・魅力化を図るための方策
- (2) 公立高等学校の協働的な学びの確保に向けた方策
- (3) 公立高等学校の地域の拠点としての施設の利活用の方策

この度、検討結果を報告書として取りまとめるに至ったので報告する。県教育委員会においては、本報告を基に議論を進め、本県公立高校の目指すべき将来像についての具体的な取組を実行されることを期待する。

## 1 「公立高等学校の特色化・魅力化を図るための方策」についての提言

### <提言>

- (1) 各高校の存在意義等を示すスクール・ミッションや、教育活動の指針となるスクール・ポリシーを早急に策定し、中学生や保護者に伝わりやすい方法で広報することが望ましい。
- (2) スクール・ミッション、スクール・ポリシーは、「徳島教育大綱」を具現化し、当該校の取組をさらに発展させる形で策定するとともに、それらに基づく教育活動の評価を行い、教育活動の改善につなげることを期待する。
- (3) 普通科の特色化・魅力化に向けて、特長がわかりにくい普通科においては、多様な教育活動を取り入れるなど、より一層の工夫を期待したい。

### <検討の経緯>

第1回の検討会議では、高等学校の特色化・魅力化について協議し、普通科の特色化・魅力化やスクール・ミッション、スクール・ポリシーの策定について意見が出された。

その中でも、スクール・ミッションや、スクール・ポリシーの策定は、中学生の目的意識を持った進路選択や、各高校の特色化・魅力化に有効であるとの認識が示され、第2回及び第3回会議では、主にそれらの策定に向けた議論を行った。

なお、スクール・ミッション及びスクール・ポリシーは、本検討会議での提言が反映される形で、報告書の提出を待たず、それぞれ令和3年4月と同年6月に策定された。

本検討会議では、このような経緯を踏まえて、公立高等学校の特色化・魅力化を図るための方策について取りまとめた。

### <考え方及び留意事項－提言(1)について－>

- スクール・ミッションやスクール・ポリシーの策定は、中学生の目的意識を持った進路選択に有効であり、早急に策定することが望ましい。
- ビジョンが明確で組織内に浸透している企業が活躍しているように、スクール・ミッションを早期に策定し、教職員間で共有することで魅力化が図られることを期待する。
- スクール・ミッション、スクール・ポリシーについて、SNSの活用や動画による情報提供をするなどして、見やすさ・分かりやすさの視点から工夫して広報してほしい。
- 県教育委員会が各高校のスクール・ミッションを公表することで、学校の序列化が進むようなことがないように配慮すべきである。

### ＜考え方及び留意事項－提言（２）について－＞

- 「徳島教育大綱」には、育成を目指す人財の具体像が掲げられている。これを実際の教育の中で具現化するとともに、当該校のそれまでの取組をベースにしてスクール・ミッションを策定する必要がある。
- 学校運営協議会や、学校教育法第４２条に基づき実施している「学校評価」を有効に活用して、スクール・ポリシー及びそれに基づく教育活動の改善につなげることが有効だと考えられる。
- スクール・ミッション及びスクール・ポリシーを大きく見直す時期は、徳島教育大綱や教育振興計画の改定時期と連動させることが望ましい。

### ＜考え方及び留意事項－提言（３）について－＞

- 特長がわかりにくい普通科は、より一層の特色化・魅力化に向けた創意工夫を期待したい。また、中学生や保護者、あるいは産業界等からニーズがあるかどうかという観点から、教育内容を検討する視点も必要である。
- 学習活動の特色化・魅力化の推進に加え、部活動を含めた学校教育活動全般において、より一層の工夫を期待したい。
- 社会的・職業的自立に向けた教育や法教育、さらには地域を誇りに思う教育等、多様な教育活動を取り入れ、生徒の夢や志の実現を支援してもらいたい。

## 2 「公立高等学校の協働的な学びの確保に向けた方策」についての提言

### <提言>

- (4) 各高校が互いに切磋琢磨することや、地域社会や各高校、各種団体等との連携を通じて、生徒の可能性を広げることにつながる魅力ある協働的な学びを展開していくことを期待したい。
- (5) 部活動や学校行事等、同じ空間で時間を共にすることを通じた生徒同士の関わり合いが協働的な学びの基本となる。必要な教職員数を維持し、学校の活力や多様性を確保するためには、一定の学校規模を確保することが望ましい。
- (6) 将来的な生徒数の減少を見据えて、再編統合による高校の特色化・魅力化を図る視点も必要である。また、高校の適正配置、再編統合の計画や方針を検討するにあたっては、地域振興の核としての高校の役割や、地元地域等に与える影響を十分考慮し、様々な意見を聞いて進める必要がある。

### <検討の経緯>

本検討会議では、第4回会議において公立高等学校の協働的な学びの確保に向けた方策について協議した。

今後、DX(デジタルトランスフォーメーション)等の進展に伴い、我々の生活は劇的に変化していくことが予想されている。こうした中、学校教育において、協働的な学びを充実させるためには、ICTを基盤とした先端技術や地域の教育力等を有効に活用し、教育活動を充実させていかなければならない。

また、部活動や学校行事等、リアルな生徒同士の関わり合いが協働的な学びの基本となると考えられるので、将来的な生徒数の減少を見据えつつ、適正配置や適正規模の維持、さらには再編統合によって、協働的な学びを確保しようとする視点も必要である。

本検討会議では、このような認識のもと、協働的な学びの確保に向けた方策を取りまとめた。

### <考え方及び留意事項－提言(4)について－>

- スクール・ミッション、スクール・ポリシーのもと、各高校独自の特色や魅力を持った協働的な学びを創出する必要がある。
- ICTの活用や学校行事等を通じた各高校の連携によって、協働的な学びを展開していくことを期待したい。
- 地域や各種団体、企業、同窓会の先輩等、学校外の方々と関わる機会を創出し、様々な考え方や価値観に触れ、生徒の可能性を広げてもらいたい。



＜考え方及び留意事項－提言（５）について－＞

- 学校が小規模化することで、必要な教職員数の確保が困難になるなど、学校の活力・多様性が低下し、協働的な学びの機会の確保が困難になることが懸念されるため、教職員数及び生徒数を一定数維持する必要がある。
- 部活動については、集団で活動する部活動を含め、一定数以上の部活動が維持できる学校規模が望ましい。

＜考え方及び留意事項－提言（６）について－＞

- 協働的な学びを確保し、各高校の特色化・魅力化を推進するためには、将来的な生徒数の減少を考慮し、様々な意見を聞いた上で高校の適正配置や再編統合を考える必要がある。
- これまでの本県高等学校の再編統合が、主に専門高校・専門学科を中心に行われたことを考えると、今後は、普通科を中心とした再編統合について検討する必要がある。

### 3 「公立高等学校の地域の拠点としての施設の利活用の方策」についての提言

#### <提言>

- (7) 施設の利活用の在り方としては、子どもたちの学びの場としての利活用や、学校施設と社会体育施設や公共施設等とが複合化した施設としての利活用、さらには、企業の誘致につながる利活用等の観点から考えられるのではないかと。
- (8) 将来的な生徒数の減少を見据えつつ、地域等が必要とする利活用の在り方を模索してほしい。また、現存している学校の施設を利活用する際には、施設利用者と学校の双方にとってメリットがあるような利活用の在り方を検討する必要がある。

#### <検討の経緯>

本検討会議では、第5回会議において、公立高等学校の地域の拠点としての施設の利活用の方策について協議した。

学校は、それぞれの地域の貴重な財産である。再編統合等によって生じた空き校舎等の施設や空き教室を活用し、地域社会の活性化につなげる取組が期待される。そのためには、利活用の在り方について、多様なアイデアを出しながら、有効な方策を生み出すことが大切である。

また、現存する学校施設の利活用を行う際には、施設利用者だけでなく学校側の視点からも利活用の在り方を考える必要がある。

本検討会議では、このような認識のもとで意見交換を行い、自由な発想による施設の利活用のアイデアや、利活用を進める上で考慮すべき点について出された意見を取りまとめた。

#### <考え方及び留意事項－提言(7)について－>

○必要経費や施設の場所等の制約条件にとらわれず、委員から出された利活用の主なアイデアとして、次のようなものがあつた。

- ・ 適応指導教室や通信制高校、しらさぎ中学校のサテライト校等、多様な学びに対応できる施設としての利活用。
- ・ 学童保育や図書館、子ども食堂、障がい者支援施設等、子どもたちをサポートする支援センターや子どもたちの学びの場としての利活用。
- ・ スケートボード等の競技に特化した県外から代表レベルの人たちが集まるような施設や、学校施設と社会体育施設等とを複合化した施設としての利活用。
- ・ キャンプ初心者のためのキャンプ場や、本県への移住を検討する人の宿泊施設、あるいは小規模校が集って協働的な活動が行える施設としての利活用。
- ・ Wi-Fi完備で気軽に使えるコワーキングスペースやサテライトオフィス等、企業への貸し出しや企業の誘致につながる利活用。
- ・ 体験農園や農業レストラン等、農業拠点としての施設や、教育、市民生活、産業関係等を包括する複合型の公共施設としての利活用。



＜考え方及び留意事項－提言（８）について＞

- 持続可能な利活用のためには、地元地域や企業と連携するとともに、外部委託を含め、安全管理やセキュリティ対策等の管理運営体制を確立する必要がある。
- 地域住民、行政との協議の場を設けるなどして、早い段階から地元地域のニーズを把握できるよう取り組んでほしい。

## 新時代における徳島県公立高等学校の在り方検討会議開催経過

### 第1回会議 令和3年2月2日(火)

【場 所】 徳島グランヴィリオホテル グランヴィリオホール

【主な内容】

<事務局説明>

○本県公立高等学校の現状について

○国の動きについて

<意見交換>

○公立高等学校の特色化・魅力化を図るための方策について

### 第2回会議 令和3年3月19日(金)

【場 所】 徳島グランヴィリオホテル ヴィリオルーム

【主な内容】

<事務局説明>

○徳島県版「スクール・ミッション」の策定について

○各高等学校のスクール・ミッション(案)

<意見交換>

○各高等学校のスクール・ミッション(案)について

### 第3回会議 令和3年5月31日(月)

【場 所】 徳島県庁 大会議室

【主な内容】

<事務局説明>

○徳島県公立高等学校・中等教育学校のスクール・ミッション一覧について

○スクール・ミッション, スクール・ポリシーの広報イメージについて

○スクール・ポリシーについて

<意見交換>

○スクール・ミッション, スクール・ポリシーの広報について

○スクール・ポリシーに基づく教育活動の評価等について

### 第4回会議 令和3年8月30日(月)

【場 所】 徳島県庁 大会議室

【主な内容】

<事務局説明>

○スクール・ポリシーに基づく教育活動の評価等について

○協働的な学びの確保に向けた方策について

<意見交換>

○協働的な学びの確保に向けた方策について

### 第5回会議 令和3年10月26日(火)

【場 所】 徳島県庁 大会議室

【主な内容】

<事務局説明>

○地域の拠点としての施設の利活用について

<意見交換>

○地域の拠点としての施設の利活用の方策について

### 第6回会議 令和4年1月20日(木)

【場 所】 徳島県庁 大会議室

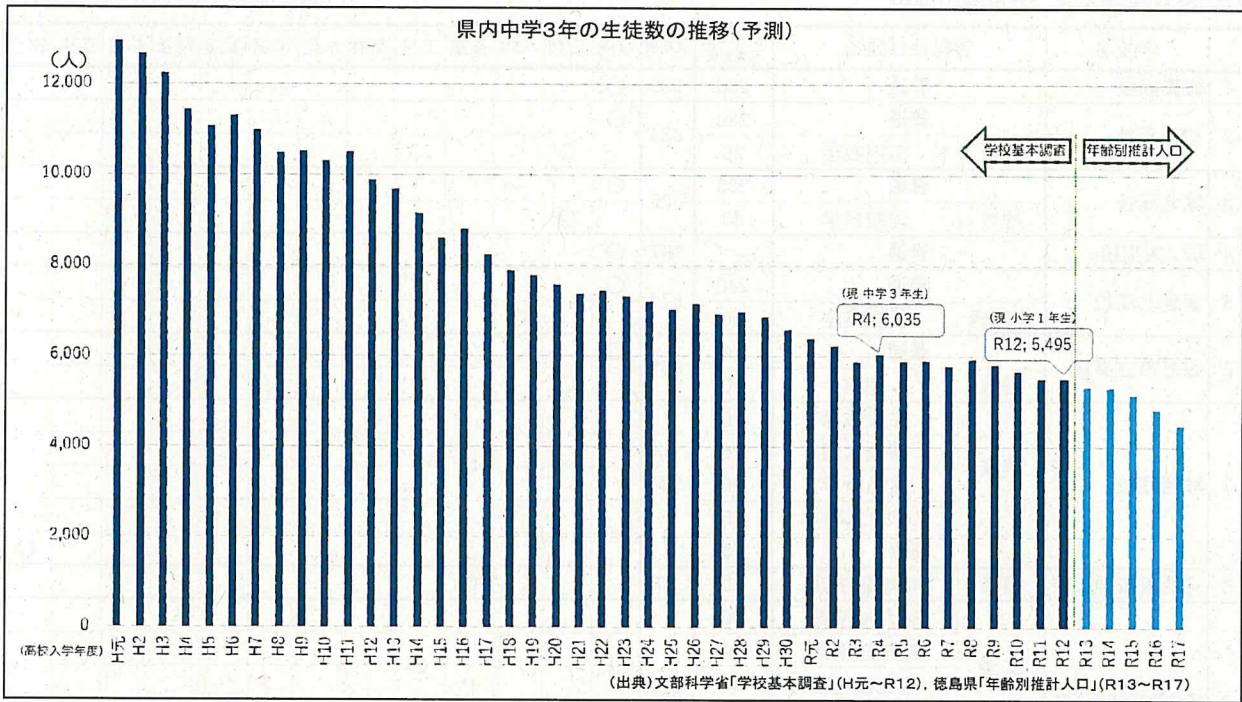
【主な内容】

<事務局説明>

○これまでの議論の整理について

<意見交換>

○報告書の作成について





## 資料 4

## 公立高等学校・県立中等教育学校及び県立中学校の設置状況

(1) 公立高等学校 全日制の課程

※生徒数は令和3年5月1日現在

No.	学校名	学科及び類名		令和4年度 募集定員	生徒数	設置状況															
						普通	理数	外国語	農業	工業	商業	水産	家庭	看護	福祉	体育	芸術	総合			
1	城東高校	普通		280	829	○															
2	城南高校	普通		280	824	○															
		理数	応用数理	30			○														
3	城北高校	普通		280	820	○															
		理数	理数科学	30			○														
4	城ノ内高校	普通		240	387	○															
5	徳島北高校	普通		240	877	○															
		外国語	国際英語	40				○													
6	徳島市立高校	普通		280	931	○															
		理数	理数	40			○														
7	城西高校	農業	生産技術	20	504																
			植物活用	25																	
			食品科学	25						○											
			アグリビジネス	25																	
		総合	75																	○	
8	城西高校神山校	農業	地域創生類	30	87																
9	徳島科学技術高校	工業	総合科学類	60	862																
			機械技術類	70																	
			電気技術類	60																	
			建設技術類	80																	
		水産	海洋科学類	10																	
			海洋技術類	20																	
10	徳島商業高校	商業	ビジネス探究	60	775																
			ビジネス創造	190																	
11	小松島高校	普通		165	522	○															
12	小松島西高校	商業	商業	60	518																
			食物	70																	
		家庭	生活文化	20																	
			福祉	30																	
13	小松島西高校勝浦校	農業	応用生産	15	87																
			園芸福祉	15																	
14	富岡東高校	普通		150	569	○															
		商業	商業	35																	
15	富岡東高校羽ノ浦校	看護	看護	40	192																
16	富岡西高校	普通		155	609	○															
		理数	理数	40			○														
17	阿南光高校	工業	機械ロボットシステム	35	504																
			電気情報システム	30																	
			都市環境システム	25																	
		総合	産業創造	85																	
18	那賀高校	普通		45	181	○															
		農業	森林クリエイト	20																	
19	海部高校	普通		60	301	○															
		商業	情報ビジネス	20																	
		理数	数理科学	30			○														
20	鳴門高校	普通		260	827	○															
21	鳴門渦潮高校	体育	スポーツ科学	60	593																
		総合	総合	135																	
22	板野高校	普通		125	443	○															
23	名西高校	普通		50	321	○															
		芸術	芸術(音楽)	15																	
			芸術(美術)	20																	
			芸術(書道)	10																	

	学校名	学科及び類名		令和4年度 募集定員	生徒数	普通	理数	外国語	農業	工業	商業	水産	家庭	看護	福祉	体育	芸術	総合			
24	吉野川高校	農業	農業科学	15	317																
			生物活用	15																	
		商業	会計ビジネス	20																	
			情報ビジネス	25																	
			食ビジネス	30																	
25	川島高校	普通	110	385	○																
26	阿波高校	普通	170	509	○																
27	阿波西高校	普通	50	162	○																
28	穴吹高校	普通	50	146	○																
29	脇町高校	普通	165	523	○																
30	つるぎ高校	工業	電気	45	485																
			機械	45																	
			建設	20																	
		商業	商業	25																	
			地域ビジネス	20																	
31	池田高校	普通	125	489	○																
		理数	探究																		35
32	池田高校辻校	総合	45	151																	○
33	池田高校三好校	農業	食農科学	20	91				○												
			環境資源	15																	
全 日 制 計				5115	15821	20	6	1	6	3	6	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4

	普通科(含 理数科・外国語科)				専門学科(除 理数科・外国語科)													総合 学科
	普通	理数	外国語	小計	農業	工業	商業	水産	家庭	看護	福祉	体育	芸術	小計				
令和4年度全日制募集定員 構成比(%)	59.4	4.0	0.8	64.2	4.7	9.2	9.5	0.6	1.7	0.8	0.6	1.2	0.9	29.2	6.6			
令和4年度全日制進学希望(令和3年9月調査) 構成比(%)	64.9	4.3	0.7	69.9	2.5	10.1	7.7	0.9	1.8	0.8	0.3	0.8	0.6	25.5	4.6			

(2) 公立高等学校 定時制の課程

	学校名	学科及び類名		令和4年度 募集定員	生徒数	普通	理数	外国語	農業	工業	商業	水産	家庭	看護	福祉	体育	芸術	総合		
1	徳島科学技術高校	工業	機械類	40	64					○										
			工業技術類	40																
2	徳島中央高校	普通	普通(昼間午前)	60	237	○														
			普通(昼間午後)	30																
			普通(夜間)	40																
3	富岡東高校	普通	40	20	○															
4	鳴門高校	普通	40	43	○															
5	名西高校	普通	40	27	○															
6	池田高校	普通	40	19	○															
定 時 制 計				370	410	5				1										

(3) 公立高等学校 通信制の課程

	学校名	学科及び類名		令和4年度 募集定員	生徒数	普通	理数	外国語	農業	工業	商業	水産	家庭	看護	福祉	体育	芸術	総合	
1	徳島中央高校	看護	普通	※	161	○													
			衛生看護																

※募集定員については、制限を設けていない。

(4) 県立中等教育学校及び県立中学校

	学校名	令和4年度 募集定員	生徒数
1	城ノ内中等教育学校	140	554
2	富岡東中学校(併設型中高一貫教育校)	70	239
3	県立川島中学校(併設型中高一貫教育校)	50	126
県立中等教育学校及び県立中学校 計		260	919

## 最近の高校再編

○海部高校（平成16年4月～）

海南高校  
日和佐高校  
穴喰商業高校

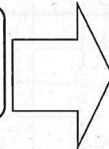


海部高校  
・普通科  
・情報ビジネス科  
・数理科学科

《校地》海南高校

○徳島科学技術高校（平成21年4月～）

徳島工業高校  
徳島東工業高校  
水産高校

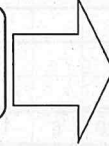


徳島科学技術高校  
・総合科学類  
・電気技術類  
・海洋科学類  
・機械技術類  
・建設技術類  
・海洋技術類

《校地》徳島工業高校

○小松島西高校勝浦校（平成24年4月～）

勝浦高校



小松島西高校勝浦校  
・応用生産科  
・園芸福祉科

《校地》勝浦高校

○鳴門渦潮高校（平成24年4月～）

鳴門第一高校  
鳴門市立  
鳴門工業高校

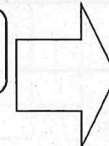


鳴門渦潮高校  
・総合学科（5系列）  
・スポーツ科学科

《校地》鳴門工業高校

○吉野川高校（平成24年4月～）

阿波農業高校  
鴨島商業高校



吉野川高校  
・農業科学科  
・会計ビジネス科  
・食ビジネス科  
・生物活用科  
・情報ビジネス科

《校地》鴨島商業高校

○つるぎ高校（平成26年4月～）

貞光工業高校  
美馬商業高校



つるぎ高校  
・電気科  
・商業科  
・機械科  
・地域ビジネス科  
・建設科

《校地》貞光工業高校

○池田高校・辻校・三好校（平成29年4月～）

池田高校  
辻高校  
三好高校



池田高校・普通科  
辻校・総合学科（3系列）  
三好校・食農科学科・環境資源科  
・探究科

《校地》池田高校，辻高校，三好高校

○阿南光高校（平成30年4月～）

阿南工業高校  
新野高校



阿南光高校  
・工業科  
・産業創造科（5系列）

《校地》阿南工業高校，新野高校



## 最近の学科再編, 新学科の設置等

普通科 (含 理数科, 外国語科)

専門学科 (除 理数科, 外国語科)・総合学科

年度	高校名	内 容	年度	高校名	内 容
H16	城ノ内	開校 城ノ内中学校を開校	H16		
H18	城南 徳島北 川島	設置 応用数理科 設置 国際英語科 開校 県立川島中学校を開校	H18		
H21	富岡西	設置 理数科	H21	貞光工業	学科再編 建設科 (建築科, 土木科を再編)
H22	富岡東	開校 富岡東中学校を開校	H22	勝浦	学科再編 応用生産科, 園芸福祉科 (普通科, 園芸科を再編)
H24	池田	設置 探究科	H24	城西	学科再編 生産技術科, 植物活用科, 食品科学科 (農業科学科を再編)
				徳島商業	学科再編 情報処理科, 会計情報科, 商業科 (総合情報ビジネス類を再編)
				阿南工業	学科再編 機械科, 電気科, 建設科 (工業類を再編)
				三好	学科再編 食農科学科, 環境資源科, 情報ビジネス科 (生物資源類, ビジネス類を再編)
H27			H27	辻	設置 総合学科 (情報ビジネス, 生活デザイン, 医療・福祉の3系列)
H28			H28	那賀	設置 森林クリエイト科
H29			H29	城西	設置 アグリビジネス科
H30	城北	設置 理数科学科	H30		
H31			H31	城西神山校	校名変更・地域創生類 学科再編 (造園土木科, 生活科を再編)
R2	城ノ内	開校 城ノ内中等教育学校を開校	R2		
R3			R3	徳島商業	学科再編 ビジネス探究科, ビジネス創造科 (情報処理科, 会計情報科, 商業科を再編)

## 新時代における徳島県公立高等学校の在り方検討会議設置要綱

### (設 置)

第1条 徳島県公立高等学校の目指すべき将来像を描くに当たり、最適な高校の在り方を検討するため、「新時代における徳島県公立高等学校の在り方検討会議」（以下「検討会議」という。）を設置する。

### (検討事項)

第2条 検討会議は、次に掲げる事項について検討を行う。なお、検討結果については、徳島県教育委員会教育長（以下「教育長」という。）に報告するものとする。

- (1) 公立高等学校の特色化・魅力化を図るための方策
- (2) 公立高等学校の協働的な学びの確保に向けた方策
- (3) 公立高等学校の地域の拠点としての施設の利活用の方策

### (委 員)

第3条 検討会議は、委員15名以内で組織する。

- 2 委員は、学識経験者、行政関係者及び学校関係者のうちから、教育長が委嘱する。
- 3 委員の任期は、第2条に掲げる報告が終了するまでとする。
- 4 欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

### (会 長)

第4条 検討会議に、会長1人及び副会長1人を置く。

- 2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。
- 3 会長は、検討会議を代表し、会議の議長となる。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

### (会 議)

第5条 検討会議は、会長が招集する。

- 2 検討会議は、委員の半数以上の出席がなければ、開くことができない。
- 3 会長は、必要があると認められるときは、委員以外の者に出席を求め、意見若しくは説明を聴くことができる。

### (庶 務)

第6条 検討会議の庶務は、徳島県教育委員会教育創生課において処理する。

### (その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、検討会議の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

### 附 則

この要綱は、令和3年1月8日から施行する。

## 新時代における徳島県公立高等学校の在り方検討会議委員一覧

令和3年4月1日現在

氏 名	役 職 等
会 長 山 下 一 夫	鳴門教育大学 学長
副会長 坂 田 千代子	一般社団法人徳島経済同友会 代表幹事 株式会社あわわ 会長
荒 木 光二郎	公益財団法人徳島経済研究所 専務理事
市 岡 沙 織	市岡製菓株式会社 代表取締役社長
井 上 浩 子	徳島県立富岡東中学校・高等学校 学校評議員
儀 宝 修	徳島県立徳島科学技術高等学校 校長
近 藤 明 子	四国大学経営情報学部 准教授
瀬 尾 陽 子	徳島県立吉野川高等学校 PTA会長
孝 志 茜	さくら税理士法人 公認会計士・税理士
辻 貴 博	貞光食糧工業株式会社 代表取締役社長
西 村 智 子	川城・西村法律事務所 弁護士
福 谷 あずさ	ケーブルテレビ徳島株式会社 コンテンツ事業部編成グループ 係長
分 木 秀 樹	公益財団法人徳島県スポーツ協会 専務理事
松 本 賢 治	徳島県市町村教育委員会連合会 会長 徳島市教育委員会 教育長
結 城 栄 子	吉野川市立川島中学校 校長

※ 会長, 副会長以外は50音順 敬称略



公立高等学校

〈全日制課程〉

学校名	学科名	スクール・ミッション
城東	普通	県内全域から集まる仲間と切磋琢磨する環境の中で、グローバルな企業・大学との連携による「企業研修」・「海外研修」・「探究活動」など、将来を見据えた教育活動をとおして、国内外で活躍できる「グローバル人財」に必要な力を育成します。
城南	普通 理数	県内で最も古い歴史と伝統の中で培われてきた「自主自立」の精神のもと、応用数理科の課題研究と、そのノウハウを活用した普通科の探究活動などをとおして、「未来を切り拓くイノベーター(革新者)」として必要となる力を育成します。
城北	普通 理数	「地元大学・企業との連携」のもとで行うSDGsに関する探究活動や、徳島ならではの「伝統文化の継承」活動、個に応じた多様な選択科目の学習などをとおして、豊かな社会生活の実現に貢献し、将来の徳島をけん引するために必要な力を育成します。
徳島北	普通 外国語	英語教育をリードする学校として、英語の4技能をバランスよく高める授業や大勢のALTと英語のみで過ごす「English Day」,「海外語学研修」などの活動をとおして、国際的視野を持った「グローバル人財」に必要な力を育成します。
徳島市立	普通 理数	「真に自由で清新な校風」を理念とする県内唯一の市立高校として、徳島市内外の恵まれた人的・物的資源を最大限に活用した教育活動をとおして、「学問・スポーツ・芸術」における探究的・創造的イノベーター(革新者)やアスリート・アーティストとしての力を育成します。
城西	農業 総合	「6次産業化教育の基盤となる農業教育」や、「人文・情報・ビジネス・自然・生活・福祉」から選択できる総合学科の特長を生かして、一人ひとりの個性・可能性を伸ばし、地域産業を支えるために必要となる力を育成します。
城西 神山校	農業	神山町や地域企業との連携のもと、「まち全体を学びの場」とした「食・農・環境」に関する教育活動をとおして、農業の専門的な知識・技術を習得し、自ら主体となって地域が抱える諸課題を解決する力や地域産業を支える力を育成します。
徳島 科学技術	工業 水産	工業科・水産科の6類11コースにおいて、進学と就職に対応した「ハイブリッド型教育システム」を生かして、「将来の産業界を担う高度技術者」や「地元産業界を支える実践技術者」に必要な力を育成します。
徳島商業	商業	変革と挑戦を続ける伝統ある商業高校として、カンボジアとのフェアトレード商品開発をはじめとした「エシカル消費」活動などをとおして、「グローバル」な視点を持ってビジネス界で活躍できる力を育成します。



学校名	学科名	スクール・ミッション
小松島	普通	自分の物語をつづっていくキャリア・パスポート「未来手帳」や、生徒が教師役となる「生徒授業」、「松原育樹ボランティア」など、生徒主体の活動をとおして、地域の経済活動や社会生活を豊かにする実践力を育成します。
小松島西	商業 家庭 福祉	「ビジネス・食・アパレル・福祉」に関する専門的な知識・技術を習得するとともに、実社会で活躍するプロによる講習や地域行事への参加など体験活動をとおして、幅広い視野を持って地域社会に貢献するために必要となる力を育成します。
小松島西 勝浦校	農業	「ゆこう」を使った商品開発や「檜原の棚田」の保全活動など地域の資産を生かして、野菜・果樹や草花の生産・栽培と環境保全に関する専門的な知識・技術を習得し、人とのつながりを大切にすると、地域産業を支える力を育成します。
富岡東	普通 商業	「さわやかで活力あふれる富東」の理念のもと、探究活動に力を入れる普通科と地域と連携して実践力を養う商業科の生徒が、学校行事や部活動などで切磋琢磨し、併設中学校の生徒とも交流できる環境を生かして、国内外で活躍できる力を育成します。
富岡東 羽ノ浦校	看護 専攻	「看護の道」を志す者としての豊かな心を育み、専門的な知識・技術を習得できる「5年一貫」の教育環境を生かして、生涯にわたり学びの姿勢を持った、社会に貢献できる看護師として必要となる力を育成します。
富岡西	普通 理数	グローバル企業や国内外の大学、地域との連携のもと、情報分析や考察を行う「科学的研究活動」や、地方創生をテーマにした「探究活動」などをとおして、「地域社会をイノベーション(革新)」する実践力を育成します。
阿南光	工業 総合	「農工商が一体化」した専門教育を行う高校として、「徳島大学サテライトキャンパス」を置く新野キャンパスでの高大接続教育や、地元企業などとの連携により、6次産業化に対応し、ものづくりを重視した教育活動をとおして、地域の未来を創造する力を育成します。
那賀	普通 農業	那賀町など関係機関との連携のもと、進学と就職に対応する「3つのコース」を持つ普通科と、林業機械操作などの資格取得や実習により「林業のスペシャリスト」をめざす森林クリエイト科の特長を生かして、地域産業など社会に貢献できる力を育成します。
海部	普通 商業 理数	県内外から集う仲間とともに、「SDGsを軸とした地域学習(海部学) <sup>あまべがく</sup> 」や「オンライン英会話」、「起業体験」など、多様なニーズに対応した教育活動をとおして、地域の未来を担うために必要となる力を育成します。



学校名	学科名	スクール・ミッション
鳴門	普通	大学教員の特別講義や大学院生によるサポートなど「鳴門教育大学との連携」や、『ボランティア学特講』など学校独自に設定した多様な科目を生かして、グローバルな視点を持って地域社会に貢献するために必要となる力を育成します。
鳴門渦潮	体育 総合	県立高校唯一の「スポーツ科学科」と、選択できる系列(コース)数と授業時間数とが県内で最も多い「総合学科」の特長を生かして、国内外で活躍するトップアスリートとしての力や地域を支えるために必要となる力を育成します。
板野	普通	お接待をはじめとする「ボランティア活動」や、1年次に取り組む「インターンシップ」など、地域との連携による様々な活動をとおして、人とのつながりを大切にする心と、広く社会に貢献できる力を育成します。
名西	普通 芸術	「文化芸術リーディングハイスクール」として、プロの芸術家などから指導を受ける機会を生かして、普通科と芸術科の生徒が互いに感性と能力を磨き合い、社会生活を豊かにするための創造力やトップアーティストとしての力を育成します。
吉野川	農業 商業	食の安全・安心に配慮した「生産・加工・販売・店舗経営」など、「農業・商業の連携教育」のもと、専門的な知識・技術を習得できる教育環境を生かして、地域産業を支えるために必要となる力を育成します。
川島	普通	中学生と高校生が学校行事や部活動で交流するなど、「併設型中高一貫教育校*」ならではの互いに認め合い切磋琢磨できる環境や、「海外語学研修」などの国際交流の機会を生かして、グローバルな視点を持って地域社会に貢献できる力を育成します。 *市町村立中学校と県立川島中学校から入学します
阿波	普通	地元自治体や企業などと連携した「地域探究活動」における、「環境問題」をはじめとしたSDGsの実現に向けた課題解決学習などをとおして、自己の未来をデザインしようとする主体性と、経済活動や社会生活を豊かにする力を育成します。
阿波西	普通	「地元中学校との連携」や、地域のニーズに対応した「福祉やビジネス、アカデミック(学術)の3コース制」、「少人数学習」などの特長を生かして、人とのつながりを大切にする心と、地域を支えるために必要となる力を育成します。
穴吹	普通	「地域との連携」や徹底した「少人数学習」のもと、『ふるさと探究』や『楽しい実験』など学校独自に設定した多様な科目を生かして、一人ひとりの個性や可能性を伸ばし、地域社会が抱える諸課題の解決能力など社会に貢献できる力を育成します。
脇町	普通	全教科・科目で取り組む「協働的問題解決学習」と、県内外の大学や地域との連携によるビッグデータやIoT/AIを活用した「課題研究」などをとおして、科学的・論理的思考力を培い、各分野で活躍できる力を育成します。
つるぎ	工業 商業	地域に根ざした工業教育・商業教育の連携のもと、「充実したICT教育環境」を生かして、確かな学力と専門的な知識・技術を習得し、地域社会の発展に貢献する「スペシャリスト」として必要となる力を育成します。
池田	普通 理数	地元自治体や大学、企業、四国他県の高校などとの連携のもと、「フィールドワーク」を積極的に取り入れた「探究活動」をとおして、地域が抱える課題を発見・解決し、地域の未来を担うために必要となる力を育成します。
池田 辻校	総合	「商業・生活・医療福祉」の3系列のもと、進路に応じて『ビジネスマナー』や『レクリエーションスポーツ』など多様な科目から選択できる「総合学科」の特長を生かして、地域を支えるために必要となる力を育成します。
池田 三好校	農業	「夏秋イチゴ」や「ホンシメジ」など、地域と連携した「ブランドの創出につながる農業教育」の特長を生かして、人間力と創造力を培うとともに、県西部の農業と林業を中心とした地域産業を支えるために必要となる力を育成します。



<定時制課程・通信制課程>

学校名	学科名	スクール・ミッション
徳島科学技術	工業	適性や進路希望に応じた少人数での「機械、電気、建築」の学習や、「資格取得」に向けた学習などをおして、工業の専門分野に関する知識・技能を伸ばし、地域社会や産業界に貢献できる実践的な技術者に必要となる力を育成します。
徳島中央	普通 ※通信制は 普通・看護	「定時制の昼間部(午前・午後)と夜間部、通信制」の多様な学習形態から自分に合ったスタイルを選択するとともに、少人数学習のもと、「各課程」や「しらさぎ中学校」との連携、「地域貢献活動」などをおして、社会的・職業的自立に必要な力を育成します。
富岡東	普通	「星空教室」、「自然文化体験活動」などの学校独自の行事や、家庭科、商業科の選択科目などから生活に役立つ知識を少人数で学ぶことをおして、これからの時代に求められる社会人としての力を育成します。
鳴門	普通	少人数の「家庭的な雰囲気」の中、様々な目標を持つ仲間が互いに切磋琢磨しながら友情を育むとともに、それぞれのニーズに応じて学習することをおして、夢の実現に必要な力を育成します。
名西	普通	少人数でのニーズに応じた学習や、地元起業家を講師とした進路講演会などの「キャリア教育」をおして、能力・可能性を伸ばし、これからの時代に求められる社会人としての力を育成します。
池田	普通	少人数での一人ひとりの適性に応じたきめ細やかな学習や、「環境美化活動」などの地域や関係機関と連携した活動をおして、地域社会を支える人財として必要となる力を育成します。

中等教育学校

学校名	学科名	スクール・ミッション
城ノ内	後期課程は 普通科	県内唯一の中等教育学校として、「6年間」を見通したカリキュラムのもと、「先取り学習」や「国内外の中高一貫教育校との交流」、中高の切れ目のない部活動などをおして、社会が抱える諸課題を解決できる力を育成します。

## 第5回「新時代における徳島県公立高等学校の在り方検討会議」会議録

1 日 時 令和3年10月26日(火) 午前10時から午前11時30分まで

2 場 所 徳島県庁10階 大会議室

3 出席委員 市岡沙織委員, 井上浩子委員, 儀宝修委員, 坂田千代子委員  
瀬尾陽子委員, 孝志茜委員, 西村智子委員, 福谷あずさ委員  
分木秀樹委員, 松本賢治委員, 山下一夫委員, 結城栄子委員

### 4 式次第

1 開会

2 議事

(1) 「公立高等学校の協働的な学びの確保に向けた方策」について

(2) 「公立高等学校の地域の拠点としての施設の利活用の方策」について

(3) 意見交換

(4) その他

3 閉会

#### 〈意見交換〉

##### 委員

高校は生徒たちの学びの場ですので、引き続き子どもたちの学びの場として活用するのが良いのではないのでしょうか。例えば、最近では共働きの世帯が増えている一方、学童保育が狭くて利用できないことがあるので、学童保育として活用するのはどうでしょうか。また、その他にも、シェアスペースとして習い事ができる場所であるとか、子ども食堂、さらには中古の本を寄付してもらって図書館にすることなどが考えられます。

##### 委員

この会に先立って、高等学校の施設の利活用について、富岡東中高等学校の校長先生と話をさせていただきました。その際、キーワードを6つあげていただきました。それは、「地域とともにある学校」、「地域の活性化」、「人が集う街づくり」、「防災・減災」、「少子・高齢化対策」、「働き方改革」です。今後、少子化が進む中で、高校の再編統合が進むのではないかと考えています。また、高校施設の耐震化は避けて通れない問題です。そう考えると、穴喰商業高校のように更地にしてしまうのも一つの手ではないのでしょうか。

また、先程の委員の話にあったように、子どものための施設としての利活用や、阿南光高校新野キャンパスのイノベーションセンターのような利活用等も考えられるのではないかと感じました。

##### 委員

事務局の説明を聞いて、素晴らしい取組をしているなと思った次第です。確かに、使われなくなった校舎等の利活用は非常に重要な問題です。ピンチをチャンスに変えて、地域



との連携によって様々な取組ができると良いのではないのでしょうか。先程の説明の中では、阿南光高校新野キャンパスの取組は非常にうまくいっていると感じました。ここでは徳島大学との連携が進んでいますが、その一方で、企業との連携も考えられるのではないのでしょうか。高校の敷地は小学校と違って広いので、県外からの企業誘致やその地域の教育に携わってもらえるような企業を誘致することが考えられると思います。また、地域にもよりますが、徳島県は第一次産業が発達していますので、体験農園や農業レストラン等、新しい農業の拠点になるような場所にもできるのではないのでしょうか。せっかくですので地元の経済を潤せるよう、地元地域や企業と連携できるような施設が良いのではないかと感じました。

#### 会長

阿南光高校では先程の説明にあったように色々取り組まれています。その取組の中で徳島大学は野地学長を中心に積極的に協力されていますが、地元の企業との何らかの関わりもあるのでしょうか。

#### 事務局

LEDの植物工場で栽培したレタス等を近隣のハンバーグ店で食材として活用する等の取組を行っています。ただ、地元の日亜化学等との企業の連携には至っておりません。

#### 委員

様々な活用の仕方があると思いますが、それぞれの地域ごとのニーズがあると思います。以前、神山の広野小学校の旧校舎でイベントをやったことがあり、その繋がりですぐ地元の方にお話を伺う機会がありました。広野小学校では、今年あたりから地元の方々が旧校舎の職員室と校長室を使って、図書室のような空間を作っています。そこでは、週末に、地元のコーヒーの焙煎所が焼いた豆で作ったコーヒーを楽しんだり、お子さんを連れて本を読みに来てゆっくりしたりするスペースとして活用する取組がなされていると思います。神山ではこれまで図書館がなかったそうですが、移住者の方々のお子さんが増えてきている状況があります。そういう意味でも良い活用の仕方なのではないのでしょうか。

徳島市内になってくると、ヨガ等をする場所がふれあい健康館等に限られていて予約が取りづらいので、そのような用途に空きスペースを有効に活用できるのではないのでしょうか。また、アクセスがしやすい場所であれば、サテライトオフィスまでいなくても、コワーキングスペースとしてWi-Fiの設備を完備して気軽に使えるような活用の仕方もあるのではないかと思います。このように、地域ごとのニーズを汲み取りながら活用していくのがいいのではないかと思います。

#### 委員

県内公立高等学校の地域の拠点ということで、今ある施設で何かプラスアルファの機能を持たせることと、廃校となった時にその後の空き教室を利用することの二つが考えられると思います。利活用の在り方としては、今、コロナ禍において不登校の児童生徒が多く出てきていることを考えると、通信制の公立高校としての活用の在り方も考えられるのではないかと感じました。徳島市では、適応指導教室が市の中心部に一つありますが、西や南の方面にはなく、距離の関係でいけないということが生じています。そこで、不登校生の受け入れができて、中高が連携して最終的には学校に戻るような利活用がで

きたらいいなと思います。それから、統廃合後の空き地に関しては、立地条件やどれだけお金をかけられるかによると思います。色々な先進事例もありますので、そうした事例を参考にさせていただきたい。例えば、教育、市民生活、産業関係を全てミックスするような複合型の公共施設や、病院が近い場合には、介護施設としての利活用の方策、さらには、企業誘致や太陽光発電等の利活用も考えられると思います。

#### 会長

委員も言われたように企業等との連携や、高校だけでなく小学校の利活用も含めて考えていただけたらと思います。

#### 委員

阿南光高校の取組は非常に素晴らしいと思います。阿南光高校では、宿泊施設があるとのことですが、宿泊できるかどうかの一つのポイントだと思います。以前は部活動等の合宿がありましたが、今はなかなかありません。コロナが収束してからの話になりますが、合宿等の活動や小規模化する近隣の学校が集まって行う協働的な活動の拠点としての利活用も考えられるのではないのでしょうか。

#### 委員

県外から人が来てくれるような利用のされ方が良いのではないのでしょうか。現状でも、スポーツ施設としても利用されているようですが、東京オリンピックで日本も活躍したスケートボードやボルダリング等の全国的に数少ない競技施設の一つに特化して非常に良い施設として整備し、その横に宿泊施設等があれば県外からそのスポーツの代表レベルの人たちが使う施設になるのではと思います。さらに、それを県内の子どもたちが見て興味を持って取り組み、オリンピック選手が輩出されるようなことにつながると良いのではないかなと思いました。

また、二つめとしては、サテライトオフィスとしての活用も考えられると思います。そして、三つめとして、コロナ禍の影響でキャンプが流行っていると聞くので、キャンプ初心者やファミリーキャンプ等、ゆるくキャンプしたい人のためのキャンプ場としての利活用を提案したいと思います。学校には、トイレもあるし、室内で寝ようと思えば、体育館等でも寝ることもできます。また、シャワーがあればシャワーを使うこともできます。小さいお子さんを連れてキャンプしたりする人が、県外から来ることができるような使い方もあるのかなと思いました。

#### 会長

お話を聞いていて、どんどん夢が広がっていく楽しい提案だなと感じました。

#### 委員

委員が言っていましたが、学校として存続している施設の利活用の場合と、統廃合になっても使われない施設をどう使うかという場合の二つあると思います。現存している学校を使う場合は、教育に活用できる方策を考えていただくというのが学校現場としてはありがたい。例えば本校の場合、アーチェリーや、ウエイトリフティング、弓道と立派な施設を作っていただいています。そこに、外部の団体の方も練習に来ていただき、生徒も一緒に練習し、研究する中で技術力が上がっていくようなWin-Winの関係であれば良いと思



います。使う側もWinであるし、学校側も生徒のためになる使い方であれば、長続きするのではないかと思います。

また、学校施設をお貸しする場合には、管理する人も必要になります。阿南光高校でもそうだったのですが、自由に出入りできるというのは、盗難や物品の破損等、セキュリティ面での問題が起こることもあります。

阿南光高校では、徳島大学や企業の方に入っただいて生徒には良い刺激となって非常に学習効果があると感じました。学校としてもどんどん協力して、外部の方と連携協力して教育活動を行っていくことが重要だと感じています。

それともう一つ、廃校になった施設を使う場合に、本校には旧水産高校が日和佐にありますが、グラウンドもそのままの状態、そこはもう使われておりません。遠隔地にあり、職員が常駐するわけにもいきませんので、管理する上では非常に難しい部分があります。そのような中、今の色々なアイデアをどう実現していくのかと考えると、誰かに委託して管理してもらわなければ、学校が管理するのは難しいと思います。そこで、耐震化や施設管理を含めた安全管理等のきちんとした体制を整えば、活用が広がっていくと思います。

#### 委員

資料3では、学校現場で働いていてもなかなか知らなかったことがきれいにまとめられています。先日、資料の中で紹介されている池田支援学校美馬分校にお伺いしました。そこには、徳島県発達障がい総合支援センターアイリスがあり、卒業後、障がいのある子どもが社会に出て行った後もケアしています。就職してもなかなか継続雇用してもらえない場合もあるので、学校内に相談施設があるということは、長く見守っていけるということですので素晴らしいことだと思いました。

先程、委員の話にありましたが、今学校で特に困っている子どもたちは、不登校の子どもと発達障がいの子どもたちです。学校内に、支援センターとか作業所等の施設が複合的にあれば、管理面での大変さはあると思いますが、幼い段階から発達障がいの子どもたちをサポートできるうえに、ユニバーサルな考え方も育つのではないかといいようにも思いました。

一方で、改装してしてWi-Fi環境を整えて、ユニバーサル化も図ることになると大きな予算が伴うので、どうしても厳しい状況の時には、思い切って手放すことが必要な場所もあるかもしれないと思います。早い段階から、地域の住民や行政の方、それから令和4年度のうちに全ての県内小中高等学校に導入されるコミュニティ・スクールには、地域の運営委員の方も入られるので、そういった方々から広く意見を聞いていただいて、ニーズに合った取組をしていただきたい。

#### 会長

お二人の方からは、学校側がWinでなければとか、学校運営協議会の活用、それから行政等のニーズをちゃんと把握すること等について御発言いただきました。

#### 委員

吉野川高校には、吉野川市と阿波市に校舎が二つあり、吉野川市の方が本校になっていますが、農業科の授業では、授業によってはバスに乗って移動していますので、阿波市の校舎は空き教室が多いと思います。

施設の利活用としては、県西部では数が少ない不登校の施設や、本県の特長を生かした

四国八十八ヶ所のお遍路さんに泊まっていただく施設、さらには病児保育の教室として活用できないかと思っています。

また、リモートで仕事ができることになって田舎に移住する人が増えているというのをテレビで見ました。そういった移住を検討している人のための案内施設や宿泊施設等としても活用できるのではないかと感じました。また、廃校の活用として、他県では生ハムを作っているところや水族館にしているところもあります。このように、企業に貸し出すなどして活用するというのも良いのではないのでしょうか。

#### 委員

皆様の御意見をお聞きすると、もっともだなと思っています。学校が地域の学習の交流拠点として機能するためには、学校開放をどんどん進めていく必要があると思っています。私の立場で言いますと、学校の空いてる教室に総合型地域スポーツクラブの事務局を置き、学校と連携して部活動を運営していくことも考えられるのではないのでしょうか。また、学校開放だけではなく、学校施設と社会教育施設や社会体育施設の複合化を行い、相互利用できるようにすることも必要なのではないかと思います。小学校の中に高齢者福祉施設を作って交流を図るということもよく聞いています。

#### 会長

色々な意見を聞いていて、事務局の方も触発されることがあると思います。御意見があればいかがでしょうか。

#### 事務局

色々なアイデアを頂戴して、本当にありがとうございます。社会教育施設や福祉施設、レストラン、養殖施設、専門学校や大学との連携、さらには行政の庁舎としての活用事例等、全国で様々な取組がなされていることは我々も認識しております。このような取組を参考にして、今後取り組んでまいりたいと考えています。また、その地域を潤すといった地域経済活性化等の視点を持つことは大事ではないかと思います。そのためにも地域の意見を聞きながらニーズを把握する必要があると感じています。

#### 会長

取組を長続きさせるためにも、学校と施設の利用者双方がWin-Winであるということ、また、それに加えてお金の面も考えていかなければなりません。さらに、具体的な活用例として、不登校の適応指導教室の話や障がい者の方の施設の話も出ました。私の方からそれにもう一つ付け加えさせて下さい。

先日、しらさぎ中学校に見学に行く機会がありました。みんな前向きに学んでいました。生徒たちと話をしていると、学び直しという言葉に違和感があるということでした。自分がこれから必要だとかこれからこれをやりたいということで、学び直しというより新たな学びとか学びを志す人間だということと言われて、なるほどと思いました。

そして、困っている点はありますかと尋ねると、とにかく不便だと言っていました。西部や南部の人が行こうと思うと不便なのでサテライトができませんかという話を聞いて、こちらもなるほどと思いました。不適応教室や障がい者の施設に加えて、しらさぎ中学校の分校としての利活用もあるのではないかと思います。

#### 委員

しらさぎ中学校のサテライトということで感じたのですが、先程の鳴門渦潮高校の話の中で防災士の話がありました。防災士の資格を取得できるサテライト施設があれば良いのではないかと感じました。

それから、廃校になった施設の利活用に関してですが、膨大な資料等を取次ぎしてくれるようなところがあれば、利活用もスムーズに進むのではないかと感じました。

#### 委員

委員のお話を聞いて、なるほどと思ったのですが、徳島県には素敵な施設がまだ利活用されずに残っているという情報を発信するのは教育委員会の仕事なのかなと思いました。県庁の中でお手伝いしてくれる部署があって、情報発信を担ってくだされば都会の大学や企業が気づいて利活用を検討してくれるのではないかと感じました。

#### 会長

さらに良い方向に進むために、色々な情報発信をしていただければと思います。今日はどれも素晴らしいアイデアだと感心しました。それで、事務局がいつもは会議録としてまとめていますが、今回はそれに加えてアイデアを列挙したものを提供していただけたらと思います。

今日のまとめは一応考えては来てたんですけど、聞いてるうちに変にまとめると抜け落ちるような気がしますので、今日はまとめは控えさせていただいて、今言ったような形で事務局にお任せしたいと思います。